

**平成26年度
沖縄県立博物館・美術館
美術館教育普及報告書**

平成 26 年度 美術館教育普及報告書

Contents

- 4 はじめに
- 5 本年度の取組み
- 6 キューレータートーク・学芸員の声
- 7 アーティスト／ギャラリートーク・作家の声
- 8 美術館ボランティア活動報告・ボランティアスタッフの声
- 9 教育向け講座
- 10 バス招待事業「美術館へ行こう」・児童の声
- 12 美術講座
- 13 ワークショップ
- 14 バックヤードツアー
- 15 ワークシート
- 16 アウトリーチ
- 17 移動展
- 18 展覧会関連催事
 - 「木下晋展 - 生命の旅路 -」
 - 「麗しき琉球の記憶 - 鎌倉芳太郎が発見した『美、 -』」
- 19 展覧会関連催事
 - 「20世紀フランス絵画展 - 山形美術館 服部コレクション」
- 20 展覧会関連催事
 - 「ANSEI UCHIMA Symphony of Colors and Wind
色彩と風のシンフォニー / 内間安理の世界」
- 21 展覧会関連催事
 - 「ゴー・ビトウイーンズ展 こどもを通してみる世界」
- 22 その他教育普及活動の取組一覧
- 23 実施統計

[はじめに]

平成 19 年 11 月に開館した沖縄県立博物館・美術館は今年で 8 年目に入り、入館者数は 340 万人に達しました。これも県民の皆様をはじめとする県内外の多くの方々の当館に対する期待の表れだと感じており、また、我々の責任の重さを示しています。

美術館の主な活動内容には 5 つの柱があります。収集・保存・調査研究・展示公開そして、教育普及があげられます。教育普及活動は美術館が文化や知識の発信地となるために、美術館学芸員の専門的なアプローチとともに、誰もが美術や芸術に対する「美意識」を共有することができる場と考えます。

本報告書は、平成 26 年度に実施した企画・コレクション展関連催事、学校団体鑑賞プログラム、各種ワークショップ、ワークシート制作、バッカヤードツアー、鑑賞ツアー、アウトリーチ、移動展などの幅広い活動の内容をまとめたものです。

本報告書が、皆様にとって県立美術館を活用する一助になれば幸いです。

沖縄県立博物館・美術館 館長 安里 進

[本年度の取組み]

本年度の教育普及事業では、従来から取り組んでいる学校との連携に加え、特別支援学級・学校との連携を図る取組を行ってきました。学校との連携プログラム「学校団体対応鑑賞プログラム」やバス招待事業「美術館へ行こう」を実施し、児童・生徒の鑑賞に対応するために、鑑賞ボランティアの養成講座も実施しました。また、各種ワークショップでは、展覧会に関連付けた一般・子ども向けのワークショップや恒例の夏期子ども向けワークショップ等において、たくさんの幼児児童生徒が参加し創作活動を行いました。

さらに、企画展・コレクション展関連催事のシンポジウムや講演会、アーティストトークやキュレータートークを通して作品理解が深まる情報も提供してきました。

本年度はまた、魅力アップ事業の取組と連携し原田マハ氏、糸数弘樹氏、奈良美智氏の特別講演会も行いました。

キュレータートーク

キュレータートークとは、展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また開催するにあたり進めてきた調査・研究した内容を語る場である。

観覧者にとって、学芸員の話を聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会への向けての情報収集となる。

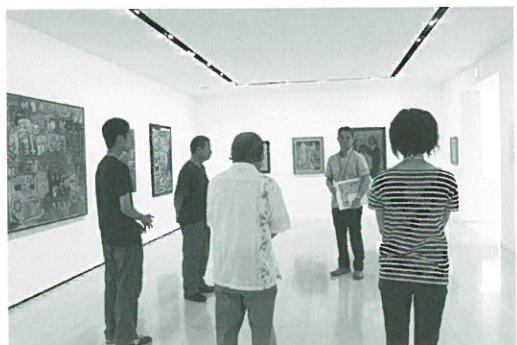


学芸員の声

仲村 保

自分の経験や価値観、あるいはその時々の感情などをもとに作品から自由にイメージを受け取リストーリーを思い浮かべる。そして、同じ作品であって他の誰かと語り合うことによって新しい気づきが次々と生まれる。美術作品鑑賞にはその楽しさがあります。

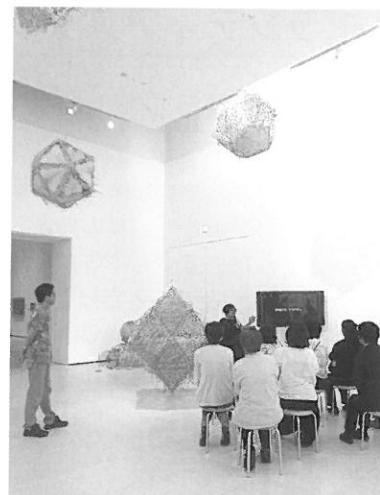
キュレータートークは、鑑賞者に展示コンセプト、作品解説、時代背景、人物像などを伝えることによって、より深く作品を理解することに役立つと思います。そのためには、私たち学芸同士が共有できる知識や情報を交換することによって、鑑賞者へのサービスの充実を図ることも大切です。



アーティスト・ギャラリートーク

アーティスト・ギャラリートークは、展覧会に出展している作家、及びゆかりのある方からお話を聞く機会である。

作家自身の言葉には、作品鑑賞だけでは読み取れない気付きがある。その人となりを知ることでより作品に対する理解が深まればと考える。



作家の声

絵描きへの道 新城 征孝（画家）

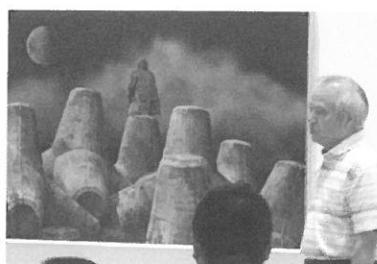
幼少の時から絵を描くのが好きだった。

成人を迎えた時、これからはグラフィックデザインの時代だと思い東京へ向かった。その頃、デザイン学校も増えつつあった。夜間のデザイン学校に通っていたが、当時、デザイン展の公募などに出品したら立続けに賞をもらい昼間の生徒にも知られていた。

27歳の頃に絵画ブームがおこり銀座界隈では画廊が急激に増えていった。毎週画廊巡りをし、簡単には貸してくれなかつた。

二科展デザイン部に出品した作品が特選に入賞した。「サンタビットリアの秘密」、第二次世界大戦中ドイツ兵に奪われないようにフランスの村人達がワインを壜に隠す物語を瓶と影で表現し、割れた瓶を描いた。美術評論家の先生に新聞誌上で褒めもらつた。この作品が絵描きになる原点だと思っている。

沖縄へ帰ったら海辺のモチーフを描いていくと決めていた。岩や石、サバニ、テトラポット、朽ちていく船、錆びていく物、目を逸らしがちな素材を写実で描いていくのは僕にとって適していると思い、絵画に転向していった。



ボランティア活動報告

美術館では、総勢 41 人のボランティアスタッフが 3 つのグループに分かれ活躍している。その活動は、学校団体へ対話による鑑賞を実施するガイドボランティア、ワークショップのサポートをするボランティア、美術関連書籍の整理をする資料整理ボランティアと多岐にわたっており、それぞれが特技を活かし美術館の活動を盛り上げている。

ボランティアスタッフの声

「美術館ボランティアに参加して」 与儀 智恵子

昨年 6 月、活動説明会のあと全 5 回の養成講座を受けた時、職員の方の熱い思いや他のボランティアさんの勉強熱心な様子に驚きました。私は鑑賞ガイドに応募する際、「美術の知識はないけれど子供たちと美術鑑賞するのは楽しそうだし、何かお手伝いができるかな」と、軽い気持ちでしたので少し不安でした。しかし、講座を終えて実践に入ると、何人かで同じ作品を観ても他の人の視点と自分とは違い、違っていてもその意見を聞くとそのようにも見えてきて、面白いなと感じてきました。さらに、活動の中には様々な講演会や館外研修等があり、活動の無い日にはコレクションギャラリーをいつでも観ることができ、自分の為の勉強の機会もありました。そして、子供と一緒にワークショップにも参加しました。今後も活動を通して関わった子供たちが、また美術館に行きたいなと思ってくれるようなお手伝いができたら嬉しいです。

「初めての体験」 上原 貞子

私が鑑賞ツアーガイドに興味を持ったのは、みんなが楽しく絵を見て、美術館へ来てよかったですと思う気持ちになってくれたらと、思ったからです。子供達の中には、自分の意見を言える子、言わない子、絵にちゃんと向き合っているのかどうか判断できない子がいて、なかなか難しいものだと痛感しました。初めての体験で緊張しましたが、これから子供達と相互意見を交わすようになれたらと思います。

「美術館ボランティア活動にあたって」 久行 順子

従来のガイドのイメージと異なる、観る方と対話を通して作品の見方を深めていく『対話』による鑑賞ガイド…自分にできるかなと期待と不安の半々で参加させていただきましたが、子ども達の先入観の無い柔軟な感想に私自身、毎回新たな発見をさせてもらっています。同じ作品でもグループ（人数、学年、クラス、男女の比率等）によって、出てくる意見や雰囲気が違っていて、まさに「一期一会」のガイド体験です。お互いの意見を共有したり、受け入れたりする経験を通して多くの方に（芸術に触れるって楽しい、美術館にまた行きたい）と思ってもらえるよう、ささやかながらお手伝いできればと思っています。



教員向け講座

学校教育における図工・美術の授業の在り方を小・中・特別支援学校の教職員を対象に、授業実践で大きな成果を上げている、うるま市立中原小学校 大城悦子校長と豊見城市立伊良波小学校 島尻千賀子教諭を講師として招き、お二人の授業実践の取組と合わせ、県立美術館が学校と連携し取り組んでいる「鑑賞ツアーや「アートカード」の活用例の紹介を行った。



【講 師】大城 悅子氏（うるま市立中原小学校校長）
島尻千賀子氏（豊見城市立伊良波小学校教諭）

【日 時】平成 26 年 8 月 7 日（木）14：00～16：00

【会 場】美術館講座室

【対 象】小中特別支援学校教諭（37 人）

【内 容】①小学校における版画指導の在り方（大城悦子校長）
②自作教材を活用した鑑賞指導について（島尻千賀子教諭）
③鑑賞ツアーやアートカード活用のワークショップ（教育普及担当）

【参加者の声】

（1）実践事例発表について

非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	無回答
17	9	2	0	0	3

- ・（大城先生の話しから）今までやっていた版画の指導を見直さないといけない。一版多色版画に取り組みたい。
- ・島尻先生の実践例がとても参考になった。子どもたちが様々な視点をもって身近な風景やものを見るようになってすごい。

（2）アートカードワークショップについて

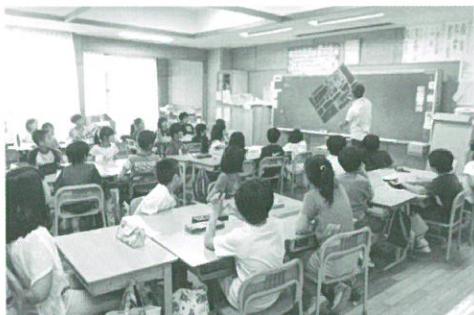
非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	無回答
19	11	0	0	0	1

- ・一つの作品でも一人一人感じ方が変わることを実感した。理由をつけながら自分の感じ方を表現することはコミュニケーションとしても大事だと思った。
- ・鑑賞させるには子どもたちの言葉をたくさん出させることが大切だと思った。（アートカードの）実践方法を知ることができて良かった。

バス招待事業「美術館へ行こう」

平成 24 年度から、5 力年計画で「美術館に行こう」と題した美術館バス招待事業を実施した。今年度は那覇・浦添地区の小中学校及び高等学校に対して公募を行った。公募の結果 10 月から 12 月までの 3 ヶ月に 7 校 (491 人) の児童生徒が美術館に足を運ぶことができた。美術館に来る前に事前に出張授業を行い、そこでティーチャーズキットや美術作品資料を活用した鑑賞の授業とマナー学んだ。美術館では、ガイドボランティアと一緒に対話による鑑賞を通して多くの感動体験が生まれた。児童生徒にとってこの体験が作品鑑賞のスタートとなり、今後の美術館での鑑賞に大きな期待をもたらす結果となつた。

回	月 日	曜 日	学校名	学 年
1	10月1日	(水)	那覇市立那覇小学校	5年生
2	10月7日	(火)	那覇市立真和志小学校	4年生
3	11月20日	(木)	沖縄県立那覇特別支援学校	中学部
4	12月2日	(火)	那覇市立小禄小学校	5年生
5	12月3日	(水)	浦添市立仲西中学校	1年生
6	12月9日	(火)	浦添市立内間小学校	3年生
7	12月11日	(木)	那覇市立城南小学校	3年生



児童の声

美じゅつ館の
みなさんへ

名前 一 年 4組

先日は、美じゅつ館見学をさせていただりありがとうございます。
ございました。(一)に書きたいことは、山ほどありますが、
その中でも一番感想どうしたことがあります。それは、一番最初
にいた企画展です。企画展ではどうゆう絵たちうと思
ふうなふしきな絵や、写真、じゅなかとくよりなりった感のある
絵の見かたも教えてください。とても勉強になりました。また十月三日
に行こうと思ひのとその時はよろしくおねがいします。

美術館の方へ

名前 一 四年 二組

この前はたくさん絵をしようかいしてくださいありがとうございました。
どうございました。

私は、見た絵の中で二階にあつたあしけねかねまささんが
かい絵が緑がたくさん使われてて絵を見て、緑のかかとい
う説明をうけたので、この人は緑色が好きだからうす
かつたり、とかなりする緑をたくさん使つた絵をかいてるのか
など思いました。
おもしろがったので、また行きたいと思います。



本年度の美術講座は、開催中の展覧会に関連して開催。仲嶺絵里奈氏にフランス近代写真について、上條文穂氏に沖縄の風土が生み出した素材と出会いと現在まで続く活動全般について、田中睦治氏に創作版画の流れから沖縄県立芸術大学での版画活動の紹介、版表現の可能性について話していただいた。



展示と関連させたプログラムを中心に行なった。実技講座が主であったが、ゴービト ウィーンズ展においては「キャプションワークショップ」と題して、鑑賞の要素を取り入れたプログラムを試みた。

夏の子どもフェスタも「中庭が水族館」など例年にも増して多くの方に参加いただき定着してきた。

3月には「修了作品展」を開催。つくったものが展示されることで、作品に対する愛着も増すように思う。



作品修了展

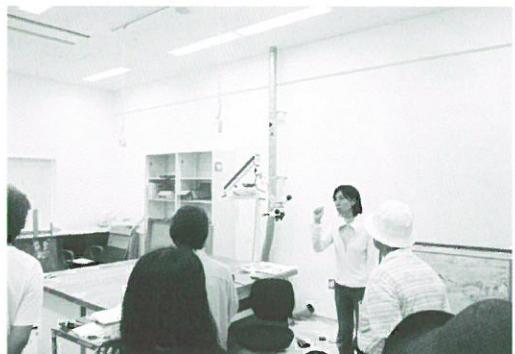
【日 時】平成26年3月13日（金）～15日（日）

【会 場】県民ギャラリー3





バックヤードツアーとは、美術館の活動や学芸員の仕事について広く伝えることを目的とし、普段見ることのできない美術館の裏側を学芸員が案内するツアーである。本催事も5年目となり、県内外より参加者が集い、最近では学芸員を目指す大学生の参加も増えている。学芸員が案内することで、展示設営や作家に関するエピソードを解説に交え、美術館に親しみを持っていただけた。



美術館バックヤードツアー

- (1) 実施：毎月1回土曜日 11:00～12:00
- (2) 内容：普段観ることのできない美術館の裏側を学芸員が案内する
- (3) 定員：12名

回	月	参加人数
1	5月17日	14
2	6月28日	2
3	7月26日	5
4	8月23日	1
5	9月27日	9

回	月	参加人数
6	10月25日	11
7	11月22日	4
8	12月20日	1
9	1月31日	5
10	2月28日	10

コレクションギャラリー3のシートを作成。対象年齢別に問い合わせを設定。また、作品をよく見てもらう設問を心掛けた。

ようこそ、美術館へ

美術館って何がある場所だらう。そう、たくさんの芸術作品があります。
いろんな人が描いた(つくった)作品に出会ってください。
美術の声があなたにも届きますように。

1 探す 2 考える 3 言葉にする 4 伝える

会場図

沖縄美術の流れ
2014年5月24日(土)～2015年5月17日(日)
沖縄県立博物館・美術館コレクションギャラリー3

ステップ1
この手はだれの手?

ステップ2
どうしてお洋服を着てないのか?
おや、苗をひいてるよ。
どんな音が聞こえてくる?

ステップ3
子どもを抱きしめているよ。
荷を見つめ、背を預っているのか?

ステップ4
モトノーンの世界が広がっているよ。
何が見えるだろう…

主催・実行：沖縄県立博物館・美術館
開館時間：9:00～18:00(最終20:00) 月曜休館
料金：一般 119円/高校10円/小中・高校100円(中高内)無料
おなまえ 美術館に来た日 年 月 日()

5 女の人は…
どうしてお洋服を着てないのか?
おや、苗をひいてるよ。
どんな音が聞こえてくる?

6 耳がピンとしている
この動物みたことある?
からだもなんだかゴツゴツしているよ。

7 △や□…
いろんなカタチがあるね。
人の顔にも見えるけど、少し不思議な感じがするね。

8 ぎゅっと
子どもを抱きしめているよ。
荷を見つめ、背を預っているのか?

9 真ん中にあるモノは…
何かな?これも音かな?
青い画面をよく見ると確かに音のようなあと跡が見えるね。

10 遠くに…
まっすぐに走った水平線に曳い線が交差しています。その透視的構成と色味を読み取る練習を試してみてください。

制作スケジュール

8週間前

6週間前

4週間前

1週間前

会議を
3~4回

制作依頼
制 作

初 稿
校 正

校了&
入 稿

納 品

アウトリーチとは、美術館館外活動のことを総じての名称である。美術館作品を館外で持ち出しての鑑賞や講師や作家を招聘しての特設授業であったり内容は様々だ。今回はコレクションギャラリー1の稻嶺成祚展（9/20～1/25開催）と連動させ、当館展示作品以外の作品18点（個人所有）を東村立山と水の生活博物館で二週間に渡って展示し、東村をはじめ近隣の方に鑑賞してもらった。また、この期間中にアーティストトークと担当学芸員による出前授業を行った。

【会期】平成26年12月13日（土）～21日（日）

【場所】東村立山と水の生活博物館

【入場者】約180人

アーティストトーク in 東村

東村立東中学校に勤務していた頃の生徒や先生方との思い出を語るとともに、稻嶺氏が取り組んできた絵画の歩み、表現スタイルの変遷を話していただいた。



【講師】稻嶺 成祚 氏（画家）

【日時】平成26年12月20日（土）16:00～17:00

【場所】東村立山と水の生活博物館

【参加者】東村の方々他 25人



出前授業 in 東村

東村立山と水の生活博物館での稻嶺作品の展示に合わせ、村内の小学校5・6年生を招き、担当学芸員である仲村保が稻嶺作品による対話による鑑賞の授業を行った。



【日時】平成26年12月18日（木）

【場所】東村立山と水の生活博物館

【参加者】東村立高江小学校（5・6年生）4人

11:00～11:45

東村立有銘小学校（5・6年生）14人

14:10～14:55



[移動展 in 西表島]

移動展は、日常的に足を運ぶことが難しい離島の方々へ博物館資料や美術作品を公開する機会を提供する趣旨から、毎年開催している。今回は、人口 2,355 名（竹富町総人口 4,202 名：平成 26 年 11 月末）の竹富町西表島で、30 年ぶりに移動展を開催した。会場には、西表島のみならず近隣の離島より多くの来場者が集まり大盛況となった。また、キュレータートークも実施し、来場者が目を輝かせながら実際の作品を目の前に鑑賞する様子が印象的であった。

【会期】平成 26 年 11 月 28 日（金）～30 日（日）

【場所】中野わいわいホール

【入場者】1,038 人



[木下晋展－生命の旅路－]

(会期：平成 26 年 4 月 4 日（金）～5 月 6 日（火）)

10 H から 10 B までの 22 段階の鉛筆を駆使し、緻密な線描で表現する木下氏の鉛筆画をはじめとした作品群を紹介。木下氏が描く鉛筆画がなぜ見る者を惹きつけるのかを考える対談やご本人が指導を行った「自画像」のワークショップなどを開催。

□記念対談

【講 師】木下晋氏（画家）、青木新門氏（作家）

【日 時】4 月 5 日（土）14：00～16：00

【会 場】講堂（当日先着 200 名／聴講無料）

【参加者】110 人



□鉛筆画ワークショップ「自画像を描く」

【講 師】木下晋氏（画家）

【日 時】4 月 6 日（日）10：30～16：00

【会 場】県民・子どもアトリエ

【参加者】23 人（定員 25 人）



□キュレータートーク

【講 師】金城美奈子（文化の杜共同企業体学芸員）

【日 時】4 月 26 日（土）11：00～12：00

【会 場】企画ギャラリー内

【参加者】11 人

[麗しき琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した“美”－]

(会期：平成 26 年 5 月 20 日（火）～6 月 22 日（日）)

鎌倉芳太郎（1898～1983 年）が行った琉球文化の調査資料を中心に、保存され戦火を免れた作品などを展示。特別講演会／クロストークでは鎌倉氏の人となり、沖縄文化に寄せた想いを知ることができた。またワークショップでは当時と現在を振り返る機会となつた。

□特別講演会／クロストーク

【講 師】高草茂氏（元岩波書店顧問）、波照間永吉氏（沖縄県立芸術大学附属研究所教授）

【日 時】5 月 31 日（土）14：00～15：30

【会 場】講堂（当日先着 200 名／聴講無料）

【参加者】175 人



□ギャラリートーク

【講 師】西村貞雄氏（琉球大学名誉教授）

【日 時】6 月 7 日（土）14：00～15：00

【会 場】企画ギャラリー内

【参加者】68 人

- ワークショップ
「ピンホールカメラで『崇元寺』を撮影しよう！」
- 【講 師】丑番直子 氏 (photographer)
【日 時】6月8日（日）10：30～13：00
【会 場】スタジオ、崇元寺周辺
【参加者】11人（定員15人）

- ワークショップ「『紅型』にふれてみよう」
- 【講 師】名護朝和 氏（沖縄県立芸術大学准教授）
【日 時】6月14日（土）10：30～13：00／15日（日）10：30～16：00（2日連続講座）
【会 場】県民・子どもアトリエ
【参加者】12人（定員15人）

- キュレータートーク
- 【講 師】謝花佐和子（文化の杜共同企業体）
【日 時】5月24日（土）11：00～12：00
【会 場】企画ギャラリー内
【参加者】33人

[20世紀フランス絵画展－山形美術館 服部コレクション]

(会期：平成26年7月15日（火）～8月31日（日）)

フランス絵画を系統的に収集展示している山形美術館の服部コレクションよりピカソをはじめとした20世紀を代表する画家たちの作品を紹介。山形美術館の学芸員による講演会や子ども対象にワークシートを作成し展覧会を理解してもらうことを行った。

- 講演会「山形美術館とフランス近代絵画」
- 【講 師】岡部信幸 氏（山形美術館学芸課長）
【日 時】8月3日（日）16：00～17：30
【会 場】講堂（当日先着200名／聴講無料）
【参加者】58人



- キュレータートーク
- 【講 師】國吉貴奈（文化の杜共同企業体学芸員）
【日 時】7月26日（土）11：00～12：00
【会 場】企画ギャラリー内
【参加者】32人

- ワークシート
【枚数】2000枚



[ANSEI UCHIMA Symphony of Colors and Wind] 色彩と風のシンフォニー / 内間安理の世界

(会期：平成 26 年 9 月 12 日（金）～平成 26 年 11 月 9 日（日）)

本展覧会は沖縄移民の二世として米国に生まれ、米国と日本の双方で版画を中心に活動した内間安理（1921～2000）の生涯と作品を紹介。戦前の東京で画家・版画家としてキャリアをスタートさせ、帰米後は晩年までニューヨークで創作を行った内間安理の表現の展開を、1955 年から 1982 年までの木版画を中心に、油彩画、水彩画、版木等の約 180 点をもとに時系列で紹介した。

また関連催事として、内間安理の作品や版画に詳しい岡崎乾二郎氏と神山泰治氏を招いたギャラリー・トークを行い、日米の二重のアイデンティティの狭間で、近代絵画の限界に向き合い創作した内間安理の思索と浮世絵など日本の伝統木版に通じる高度な技術の両面を探った。

□ギャラリートーク

【講 師】①岡崎乾二郎 氏（造形作家・評論家）②神山泰治 氏（版画家）

【日 時】①9月 21 日（日）②9月 27 日（日） 14:00～15:00

【会 場】企画ギャラリー

【参加者】①62 人 ②18 人



□美術講座

【講 師】田中睦治 氏（沖縄県立芸術大学教授）

【日 時】10月 17 日（金）18:30～20:00

【会 場】美術館講座室

【参加者】36 人



□教員向け版画ワークショップ

版画表現による色彩体験や創作コミュニケーションを
体験することで新しい教材開発に役立てる

【講 師】永津禎三 氏（琉球大学教授）

【日 時】①9月 20 日（土）

②9月 21 日（日） 9:00～15:00

【会 場】県民・こどもアトリエ

【参加者】13 人



□キュレータートーク

【講 師】大城仁美（展覧会担当学芸員）

【日 時】10月 18 日（土）11:00～12:00

【会 場】企画ギャラリー

【参加者】21 人

[ゴー・ビトウイーンズ展 こどもを通してみる世界]

(会期：平成 27 年 1 月 16 日（金）～3 月 15 日（日）)

展覧会名の「ゴー・ビトウイーンズ」とは、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけてニューヨークの貧しい移民の暮らしを取材した写真家ジェイコブ・A・リースが、英語が不自由な両親のために通訳として用事をこなした子ども達を指した言葉である。異なる文化の間や現実と想像の世界の間など、境界を行き来する子どもを媒介者として捉え、作品に表れる子どものイメージを通して子どもを取り巻く環境に目を向けた展覧会である。

教育普及プログラムの一部として出品作家の菊地智子氏と小西淳也氏を招いたシンポジウム、沖縄出身のアーティスト照屋勇賢作品の「未来達」の舞台となった東村高江集落近辺の生物を研究する宮城秋乃氏のギャラリートーク、沖縄アメラジアンスクールの現状を考えるトーク会、ワークショップを行った。

□梅 佳代トークショー

【日 時】1 月 15 日（木）18：00～19：00

【会 場】博物館講座室

【参加者】82 人

□シンポジウム

【日 時】2 月 11 日（土）14：00～17：00

【会 場】講堂 【参加者】44 人

【プログラム】

第 1 部講話：菊地智子 氏・小西淳也 氏（アーティスト）

第 2 部トークセッション：菊地智子 氏

小西淳也 氏・若林千代 氏（沖縄大学教授）

前田比呂也（美術館副館長）

コーディネーター／豊見山愛（展覧会担当学芸員）

□ギャラリートーク

【講 師】宮城秋乃 氏（日本鱗翅学会自然保護委員）

【日 時】1 月 18 日（日）14：00～15：00

【会 場】美術館講座室・企画ギャラリー 【参加者】39 人

□対話による作品鑑賞会（前田美術館副館長・豊見山学芸員） 10:00～12:00

【実施日】①1 月 24 日（土）②1 月 31 日（土）③2 月 7 日（土）

④2 月 14 日（土）⑤2 月 28 日（土）⑥3 月 7 日（土）

□映画上映会

【映画名】①「ウリハッキヨ」②「子供の情景」「ぜんぶ、フィデルのせい」

【日 時】①1 月 31 日（土）13：00～17：00

【会 場】美術館講座室 【参加者】①31 人 ②23 人



□キュレータートーク

【講 師】豊見山 愛（展覧会担当学芸員）

【日 時】1 月 17 日（土）14：00～15：00

【会 場】企画ギャラリー 【参加者】6 人



□「アメラジアンスクールの現状を考えるトーク会」

【講 師】セイヤーみどり（アメラジアンスクールオキナワ校長）

荒木夏実 氏（森美術館学芸員）

【日 時】3 月 7 日（土）14：00～16：00

【会 場】美術館講座室 【参加者】34 人

□こどもワークショップ「キャプションをつくろう」

【講 師】仲村 保（教育普及担当学芸員）

【日 時】①1 月 17 日（土）②1 月 18 日（日）③2 月 1 日（日）

①13：30～15：00 ②③10：30～12：00

【会 場】美術館企画展示室 【参加者】親子 4 組（8 人）

その他教育普及活動の取組一覧

1 魅力アップ事業

(1) 著名人コラボ

【講演会①】原田マハ講演会 【日 時】6月15日(日) 10:00～12:00

【内 容】ニシムイの画家達に焦点をあてた小説「太陽の棘」の作者原田マハ氏の講演

【場 所】講堂

【講演会②】糸数弘樹講演会

【日 時】9月27日(日) ①14:00～15:00 ②18:00～20:00

【内 容】

①中高生向け講演会……糸数氏の体験を通して将来の夢や希望、努力の大切さについて

②一般向け講演会……ディズニーでアニメ制作にかかわる仕事内容の紹介

【場 所】①こどもアトリエ ②講堂

【講演会③】奈良美智講演会 【日 時】1月16日(金) 19:00～21:00

【内 容】「自分の感性はどこから来たのだろう」と題し自身の生い立ちと作品制作の紹介

【場 所】講堂

(2) 若年者向けプロジェクト

【美術館情報紙発行】「STRAT」創刊号 4,000部 9月12日発行

「STRAT」第2号 4,000部 12月19日発行

【高校生企画①】ヒップホップダンスイベント「POWER」実施 【日 時】8月17日(日)

【高校生企画②】写真コンテスト＆表彰イベント「CRASH」実施 【日 時】3月8日(日)

2 「ひな」と「かのん」の絵画展

【期 間】1月16日(金)～3月15日(日)

【内 容】ゴービトウイーンズ展開催期間に合わせ、特異な絵画の才能をみせる

双子の「ひな」と「かのん」8歳～16歳の現在までに描いた絵画展

【場 所】企画ギャラリー内 ショップスペース

3 出前授業

回	学 校 名	期 日	回	学 校 名	期 日
1	銘苅小学校 3年	7月10日	7	那霸特別支援学校中学部	11月25日
2	真和志小学校 4年	9月25日	8	大平特別支援学校高等部	11月19日
3	那霸小学校 6年	9月26日	9	仲西中学校 1年	11月25日
4	仲井間中学校特別支援学級	9月29日	10	小禄小学校 5年	11月25日
5	沖縄県立ろう学校中学部	10月14日	11	城南小学校 3年	12月4日
6	白川小学校 6年	11月11日	12	内間小学校 3年	12月5日

平成 26 年度美術館事業統計報告

教育普及事業

1. キュレータートーク

(展示会担当学芸員による作品・作家解説 11:00 ~ 12:00)

回	月 日	曜	展示会名	参加者
1	4 月 26 日	土	「木下晋展－生命の旅路－」	11
2	5 月 17 日	土	国際博物館の日「コレクション展」	18
3	5 月 24 日	土	「麗しの琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した美－」	33
4	6 月 14 日	土	「岡本太郎写真展」	10
5	7 月 19 日	土	「オブジェが語るもの」	10
6	7 月 26 日	土	「20世紀フランス絵画展」	32
7	8 月 16 日	土	「沖縄美術の流れ」	12
8	9 月 20 日	土	「稻嶺成祚展」	5
9	10 月 18 日	土	「内間安理展」	21
10	11 月 15 日	土	「沖縄 50's – 1950 年代の美術」	3
11	1 月 17 日	土	「ゴー・ビトウイーンズ展」	6
12	2 月 21 日	土	「普天間敏展島の詩（うた）」	4
13	3 月 14 日	土	「大和コレクションVII」	7

2. アーティスト（ギャラリー）トーク

(展示作品制作者又は関係者による作品解説 14:00 ~ 15:00)

回	月 日	曜	展覧会名	講師	参加者
1	6 月 7 日	土	「麗しの琉球の記憶－鎌倉芳太郎」	西村貞雄	68
2	6 月 14 日	土	「岡本太郎写真展」	成相肇	34
3	7 月 12 日	土	「オブジェが語るもの」	ゴヤ・フリオ	26
4	7 月 21 日	土	「オブジェが語るもの」	小川京子	22
5	8 月 23 日	土	「沖縄美術の流れ」	新城征孝	19
6	9 月 21 日	土	「内間安理展」	岡崎乾二郎	62
7	9 月 27 日	日	「内間安理展」	神山泰治	18
8	11 月 2 日	日	「稻嶺成祚展」	稻嶺成祚	120
9	11 月 9 日	日	「沖縄 50's – 1950 年代の美術」	安次富長昭	9
10	12 月 20 日	土	「稻嶺成祚展 in 東村」	稻嶺成祚	25
11	1 月 18 日	日	「ゴー・ビトウイーンズ展」	宮城秋乃	39
12	2 月 7 日	土	「普天間敏展島の詩（うた）」	宮城篤正	44
13	3 月 14 日	土	「大和コレクションVII」	栗田咲子	13

3. 鑑賞ボランティアツアー

(ボランティアによる一般観覧者を対象とした鑑賞会 13:00 ~ 14:00)

回	月 日	曜	鑑賞対象展示	参加者
1	5 月 24 日	土	「沖縄美術の流れ」	9
2	6 月 28 日	土	「岡本太郎写真展」	4
3	7 月 26 日	土	「オブジェが語るもの」	6
4	8 月 23 日	土	「沖縄美術の流れ」	8
5	9 月 27 日	土	「稻嶺成祚展」	4
6	10 月 25 日	土	「沖縄美術の流れ」	8
7	11 月 22 日	土	「沖縄 50's – 1950 年代の美術」	4
8	12 月 20 日	土	「沖縄美術の流れ」	4
9	1 月 31 日	土	「沖縄美術の流れ」	7
10	2 月 28 日	土	「普天間敏展島の詩（うた）」	4
11	3 月 28 日	土	「大和コレクションVII」	5

4. ボランティア養成講座

(コレクション展に関する内容と鑑賞法の講義 10:00～12:00)

対象：登録ボランティア員

回	月 日	曜	講義内容	参加者
1	4月16日	水	本年度計画、更新手続き説明	17
2	5月14日	水	定例ボランティア学習会	14
3	5月28日	水	コレクション展の解説説明会	13
4	6月11日	水	新規ボランティア養成講座	19
5	6月25日	水	新規ボランティア養成講座（対話による鑑賞ツアーアートカードについて）	6
6	7月9日	水	新規ボランティア学習会（対話による鑑賞について）	2
7	7月16日	水	定例ボランティア学習会（対話による鑑賞ツアーアートカード）	9
8	7月23日	水	新規ボランティア学習会（アートカードについて）	6
9	8月6日	水	新規ボランティア学習会（対話による鑑賞実践①）	5
10	8月13日	水	定例ボランティア学習会（アートカード・セルフ鑑賞カードの活用）	6
11	8月20日	水	新規ボランティア学習会（対話による鑑賞実践②）	6
12	8月27日	水	定例ボランティア学習会（館外研修浦添市美術館）	9
13	9月11日	水	新規ボランティア登録式（ワークショップ、資料整理含む）	17
14	9月24日	水	定例ボランティア学習会（常設展、企画展解説説明会）	13
15	10月22日	水	定例ボランティア学習会（館外研修佐喜真美術館）	12
16	11月19日	水	ボランティア会員意見交換会	8
17	12月17日	水	ボランティア活動学校団体受け入れ振り返り	7
18	1月14日	水	定例ボランティア学習会（館外研修那覇市歴史博物館）	11
19	2月19日	水	定例ボランティア学習会（常設展解説説明会）	2
20	3月8日	水	定例ボランティア学習会（館外研修那覇市壺屋焼物博物館）	11

5. 美術講座

(コレクション展に関する美術史及び絵画の見方等の講座 18:30～20:00)

対象：一般及び登録ボランティア員

回	月 日	曜	講義内容	講 師	参加者
1	7月25日	金	「フランス近代写真－パリで活躍した写真家たち」	仲嶺絵里奈	27
2	8月29日	金	「素材との対話」	上條文穂	28
3	10月17日	金	「創作版画のたのしみ」	田中睦治	36

6. ワークショップ

(1) 子どもワークショップ①「絵の中に入ろう」.....23人参加

- ①日 時：平成 26 年 10 月 26 日（日）1 回目 10:30～12:00 2 回目 13:30～15:00
 ②内 容：1 回目：自分の顔の部分を切り抜いた画用紙に絵を描きその中に入って遊ぶ
 2 回目：様々な素材を使い作品を仕上げモビールとして吊り下げる
 ③講 師：奥山泉（現代美術家）
 ④場 所：県民・こどもアトリエ

(2) 子どもワークショップ②「はこのいえ」.....12組参加

- ①日 時：平成 27 年 3 月 1 日（日）14:00～16:00（4 歳～小 3 年親子）
 ②内 容：形や色などで工夫したボールでお家をつくる
 ③講 師：佐藤尚理（造形作家）
 ④場 所：博物館実習室

(3) 一般実技講座①「線と素材と余白」.....11人参加

- ①日 時：平成 26 年 10 月 4・25 日（土）、11 月 1 日（土）10:30～12:00
 ②内 容：二種類の墨を使い新聞に文字や絵などをコラージュし表現する
 ③講 師：伊江隆人（現代美術家）
 ④場 所：県民・こどもアトリエ

(4) 一般実技講座②「版の技法－石膏版画を学ぶ－」.....10人参加

- ①日 時：平成 27 年 1 月 31 日 10:30～12:00・2 月 7 日（土）10:30～16:00
 ②内 容：常設展「普天間敏一島の詩」に関連させた石膏版画の実技講習
 ③講 師：仲本和子（石膏版画家）
 ④場 所：県民・子どもアトリエ

- (5) 美術館夏休み子供ワークショップ①「中庭が水族館」 238組参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 2 日(土) 10:00 ~ 12:00
 ②内 容：ガラスに魚などを彩色して水族館にする
 ③講 師：仲村保(当館学芸員)
 ④対 象：小学生
 ⑤会 場：美術館中庭
- (6) 美術館夏休み子供ワークショップ②「ガラクタで楽器をつくろう」 13人参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 2 日(土) 14:00 ~ 16:00
 ②内 容：身近な廃材を使い楽器をつくり、どんな音がなるか演奏する
 ③講 師：ウチマヤスピコ(廃品回生業者・デザイナー)
 ④対 象：小学生
 ⑤会 場：正面玄関横スペース
- (7) 美術館夏休み子供ワークショップ③「版画体験ーかさねてつくる、色とかたち」 親子 11 組参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 2 日(土) 14:00 ~ 15:30
 ②内 容：一枚の版画に何層も色を重ねる多色版画
 ③講 師：永津禎三(琉球大学教授) 河辺志保(琉大附属小教諭)
 ④対 象：未就学児～小 2(親子同伴)
 ⑤会 場：博物館実習室
- (8) 美術館夏休み子供ワークショップ④「写生会」 24 人参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 3 日(日) 14:00 ~ 16:00
 ②内 容：美術館周辺の公園で写生をする
 ③講 師：沖縄県美術家連盟(屋良朝彦、大城譲、鶴見伸、當間よしの、山川さやか)
 ④対 象：小学生(親子同伴)
 ⑤会 場：博物館・美術館周辺
- (9) 美術館夏休み子供ワークショップ⑤「イラスト教室」 28 人参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 3 日(日) 14:00 ~ 16:00
 ②内 容：絵本の挿絵やポスターカードなどイラストの描き方
 ③講 師：仲本賢(沖縄県立芸術大学教授)
 ④対 象：小学生～高校生
 ⑤会 場：博物館実習室
- (10) 美術館夏休み子供ワークショップ⑥「キッズカメラマン」 15 組参加
 ①日 時：平成 26 年 8 月 3 日(日) 14:00 ~ 16:00
 ②内 容：カメラの使い方と印刷の仕方を学ぶ
 ③講 師：沖縄県立芸術大学の学生
 ④対 象：小学生
 ⑤会 場：エントランスホール
- (11) 企画展「内間安理展」関連ワークショップ「教員向け版画ワークショップ」 13 人参加
 ①日 時：平成 26 年 9 月 20 日(土)・21 日(日) 9:00 ~ 15:00
 ②内 容：版画表現による色彩体験と創作コミュニケーションの体験
 ③審査員：永津禎三(琉球大学教授)
 ④対 象：幼少中高等学校の教諭
 ⑤会 場：県民・こどもアトリエ

7. 鑑賞学習支援事業「美術館へ行こう」

- (1) 児童生徒をバスで送迎しコレクション展・企画展展示作品を使って鑑賞を行う 491 人参加
 ①対 象：那覇・浦添地区小中学校学年単位で 6 校
 ②方 法：公募により学校を決定
 ③場 所：コレクション展示室
 ④内 容：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援

回	月日	曜	学校名	見学者
1	10月1日	水	那覇市立那覇小学校(5年)	70
2	10月7日	火	那覇市立真和志小学校(4年)	94
3	11月20日	木	沖縄県立那覇特別支援学校(中学部)	10
4	12月2日	火	那覇市立小禄小学校(5年)	71
5	12月3日	水	浦添市立仲西中学校(1年)	78
6	12月9日	火	浦添市立内間小学校(3年)	95
7	12月11日	木	那覇市立城南小学校(3年)	73

8. 図工・美術担当教職員等講座.....37人参加

- ①日 時：平成 26 年 8 月 7 日（木）14:00～16:00
 ②内 容：学校現場で活用できる版画指導と鑑賞指導・アートカード活用の仕方
 ③講 師：大城悦子（うるま市立中原小学校長）・島尻千賀子（豊見城市立伊良波小学校教諭）
 ④会 場：美術館講座室

9. 研修対応**(1) 校内研修**

- ①期 間：平成 26 年 7 月 31 日（木）
 ②参加者：23 人（豊見城市立伊良波小学校）
 ③内 容：これからの美術教育と美術館での鑑賞指導の取り組みについて

(2) 那覇市教職員研修

- ①期 間：平成 26 年 8 月 6 日（水）
 ②参加者：15 人（那覇・浦添地区美術担当講座）
 ③内 容：これからの美術教育と美術館での鑑賞指導の取り組みについて

(3) 浦添市教職 10 年経験者研修

- ①期 間：平成 26 年 8 月 13 日（水）～15 日（金）
 ②参加者：3 人
 ③内 容：美術館運営と学芸業務を体験することで以後の学校の職務に役立てる

(4) 学芸員実習

- ①期 間：平成 26 年 8 月 28 日（木）～9 月 10 日（水）10 日間（土、日を除く）
 ②参加者：8 人（沖縄県立芸術大学）
 ③内 容：保存保管環境、展示方法、絵画、彫刻、写真等作品の取り扱いに関する美術館学芸員業務全般

(5) 豊見城市美術教諭初任者研修

- ①期 間：平成 27 年 2 月 12 日（木）
 ②参加者：5 人
 ③内 容：企画展・常設展見学と対話による鑑賞の体験を通して今後の教育活動に役立てる

(6) ストーリー・コー作品鑑賞会 & 特別支援教諭等意見交流会

- ①期 間：平成 27 年 2 月 28 日（土）
 ②参加者：10 人
 ③内 容：ゴービトウイーンズ出品作品のアスペルガーの子どもと母親の会話をもとにした「ストーリー・コー」を鑑賞し、その後特別支援教育に関する情報交換を行った

10. 学校団体見学対応**(1) 小中高等学校.....645人参加**

回	月 日	曜	学校名	見学者
1	6月 6日	金	東村立高江小学校	6
2	7月 5日	火	沖縄県立浦添工業高等学校	82
3	7月 15日	火	那覇市立銘苅小学校①	66
4	7月 16日	木	那覇市立銘苅小学校②	66
5	9月 24日	水	豊見城市立豊崎小学校	126
6	10月 3日	金	那覇市立仲井間中学校（特別支援学級）	9
7	10月 17日	金	沖縄県立ろう学校中等部	23
8	10月 30日	木	沖縄アミーカスインターナショナル中学部	45
9	11月 4日	金	八重瀬町立白川小学校	92
10	11月 18日	火	豊見城市立伊良波小学校	99
11	11月 21日	金	沖縄県立大平特別支援学校高等部	13
12	3月 10日	火	オキナワインターナショナルスクール	18

(2) 各種専門学校.....88人参加

回	月 日	曜	学校名	見学者
1	1月 16日	金	インターナショナルデザインアカデミー	24
2	2月 5日	木	那覇情報専門学校	10
3	2月 13日	金	尚学院 SIBA（近畿大学通信教育過程）	7
4	2月 17日	火	インターナショナルデザインアカデミー高等課程	40
5	3月 4日	木	沖縄写真デザイン学校	7

平成26年度

沖縄県立博物館・美術館
美術館教育普及報告書

2015年3月31日

発 行

沖縄県立博物館・美術館
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
TEL.098-941-8200(代表)

教育普及担当

仲村 保 (沖縄県立博物館・美術館)
仲里安広 (沖縄県立博物館・美術館)
町田恵美 (文化の杜共同企業体)
大瀬萌子 (文化の杜共同企業体)
宜保はるな (文化の杜共同企業体)

